

Next is us

日体魂を受け継ぐ者

2020年に向けて、
日体大から世界のすべての人々へ
スポーツの魅力と平和への願いをつないでいく。

特集 ■ いっそう期待に応える大学へ

学長メッセージ・役職者プロフィール — 1

平成30(2018)年度 事業計画の基本について — 3

建学の精神、ミッション、ビジョンに新たな息吹を吹き込み、
「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として進化する。

教育の質的充実の取り組み — 7

教職支援センター Report②「個別指導講師」紹介 — 9

Next is us 日体魂の聖火リレー 阿部一二三選手(柔道) — 11



第12代学長

2020年、将来に向けて、 皆さんとともに力強い第二歩を

具志堅 幸司

新人生のみなさん、御入学おめでとうございます。心より歓迎いたします。

本学は今年度より、スポーツマネジメント学部、大学院保健医療学研究科および体育科学研究科コーチング学専攻を新たに開設し、5学部9学科、3研究科4専攻を擁する、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として、体育スポーツ学、教育学、保健医療学の各分野で、教育と研究、社会貢献活動をさらに推進していくこととなります。

皆さんはそれぞれ異なる学部・研究科において、より専門的な知識や技術を体得していくわけですが、大切なことは、「何故、ここ日体大にいるのか?」、「初心忘るべからず」、時折、立ち止まり、振り返り、そしていまその胸中にある、はちきれんばかりの「夢」や「希望」あるいは目標を再確認しながら、今後の学生生活を過ごして欲しいと願います。

皆さんのこれからの道程は、決して平坦なばかりではありません。辛く苦しい場面に幾度となく遭遇することでしょう。そのピンチとどう対峙していくのか、まさに皆さんの真価が問われます。そのときの姿勢によって、新たに立つステージの風景が大きく変わってくるからです。どうか逃げ出さず、果敢に挑戦してください。

詩人・書家の相田みつをさんは、「人との出会いが人生を根本から変えることがある」、と謳っています。本学での学生生活で、「良き友」「良き師」に出会い、そしてその関係を大事に育んでください。困ったとき、辛いとき、強がらずに、まわりを見渡し、すぐ傍にいる同級生、先輩、我々教職員に素直に甘えてみてください。きっと、解決の糸口や一筋の光がみえてくるはずです。

皆さんが在学中の2020年には、オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されます。本学が果たすべき役割(存在意義)のひとつに、国際平和の実現に寄与することが挙げられます。オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの精神の実践と普及を推し進め、スポーツがもつ様々な「力」を余すところなく活用し、世界のスポーツ文化の深化・発展に努める、というものです。

来たる2020オリンピック・パラリンピック東京大会を、わたしたちの手で是非とも、成功に導きましょう。そのためには、皆さんには、これからの学修、課外活動などを通じて、体育・身体活動・スポーツの価値を正しく理解し、さらには、我々人間の生命の輝きや身体の躍動を自ら感じ取ってもらいたいと強く願います。皆さんの日体大での生活を、大いに期待します。

①最終学歴、②学位、③おもな所属団体・経歴等、④学生時代の思い出、⑤趣味・特技



副学長(企画・管理・運営担当)

松井 幸嗣

●Profile 松井 幸嗣(まつい こうじ)

①日本体育大学体育学部体育学科(S55.3)／②体育学士／③日本体育学会、日本ハンドボール学会、日本ハンドボール協会 理事、全日本学生ハンドボール連盟 理事、日本ハンドボール協会 表彰④まず浮かんでくるのは部活動のことです。私はハンドボール部に籍を置き、活動していました。日体大の学友会クラブの中でも1、2位を争うほど練習面・生活面で厳しいクラブでしたが、2～4年生まで全日本インカレで3連覇しました。4年間のクラブ生活で苦楽を共にした先輩・後輩、そして同級生はかけがえのない宝です。⑤大型バイク(ハーレーダビッドソン FLHR103)でのツーリング。



副学長(教学・学生生活担当)

笠井 里津子

●Profile 笠井 里津子(かさい りつこ)

①日本体育大学体育学部体育学科(S56.3)／弘前大学大学院医学研究科博士課程(H26.3)／②博士(医学)／③日本体育学会、日本保育学会、舞踊学会、日本運動・スポーツ科学学会、日本体力医学会、東京都女子体育連盟副会長、全国ダンス・表現運動授業研究会委員④負けず嫌いで運動量が少ない日は駒沢公園を走り、真面目に自主練習を課しダンス部の仲間と一日中活動していました。夜通しで作品創作し朝日を何度も見ました。私の人生に必要な大切な学びはダンス場であり、生涯の恩師と友人を得ることができました。⑤犬が大好き。50年近くスヌーピーグッズを収集しています。



やぎさわ まこと
八木沢 誠

スポーツ文化化学部 学部長

●Profile 八木沢 誠(やぎさわ まこと)

①日本体育大学体育学部武道学科(S59.3)／日本体育大学大学院体育学研究科(H2.3)／②体育学修士／③日本武道学会、スポーツ史学会、全日本学校剣道連盟常任理事、関東学生剣道連盟卒業生常任幹事、世田谷区剣道連盟顧問④入学と同時に剣道部に入部し、4年次には主務を務めました。当時は全国津々浦々から220名を超える部員が在籍しており、多くの先輩や後輩たちと剣を交え、大いに語り合いました。今の自分があるのも4年間を乗り切った自信と多くの剣友の支えと感謝しています。⑤掃除が息抜き。気持ちのコントロールになっています。

●Profile 石井 隆憲(いしい たかのり)

①日本体育大学大学院体育学研究科体育学専攻(S60.3)／②博士(社会学)、体育学修士／③日本スポーツ人類学会会長、日本体育学会スポーツ人類学専門領域代表、NPO法人日本チンロン連盟代表理事／④剣道部では、1年次は学生寮、2年次から卒業まで合宿所で生活しました。剣道部監督の志沢邦夫先生に気にかけていただき、とても感謝しています。／⑤趣味のチンロンはミャンマーの伝統スポーツで、十数年前に研究のために始めたのがきっかけでした。現在では、授業でも教えるようになりましたが、昨年、半月板を損傷し、少し距離を置いています。



いしい たかのり
石井 隆憲

スポーツマネジメント学部 学部長



ひらぬま けんじ
平沼 憲治

保健医療学部 学部長

●Profile 平沼 憲治(ひらぬま けんじ)

①産業医科大学医学部医学科(S60.3)／②博士(医学)／③日本整形外科学会、日本体力医学会、日本臨床スポーツ医学会評議員、日本整形外科スポーツ医学評議員、「第9回秩父宮記念スポーツ医科学賞—奨励賞—」受賞④北九州の産業医科大学で、スポーツドクターを目指して6年間を過ごしました。入学後早々、肺炎で授業を欠席。環境が変わり、自分では気づかないストレスがあり、抵抗力が低下していたのだと思います。新入生、特に地方出身者は、体調管理に気をつけてください。⑤サッカー、アメフトのゲーム観戦、自分で体を動かすゴルフ、異文化に触れる海外旅行



みずの ますひこ
水野 増彦

体育学部 学部長

●Profile 水野 増彦(みずの ますひこ)

①日本体育大学体育学部体育学科(S58.3)／②体育学士／③日本コーチング学会、日本体育学会、日本陸上競技連盟強化委員(障害部長)、関東学生陸上競技連盟評議員歴任、文部科学大臣賞受賞(H13/H15)、関東学生陸上競技連盟指導者功労賞(S63, H13, H15)、日本学生陸上競技連合功労賞(S63)④在学中から今もなお陸上競技部に所属。競技中心の生活を送り、卒業後2年目の助手時代に日本選手権で優勝し競技人生において最高の時を迎えました。33年の時を経て、未だに集う学友が存在することが私の財産です。⑤植物や花を育てながら成長を見守るのが楽しみです。



くぼ けんじ
久保 健

児童スポーツ教育学部 学部長

●Profile 久保 健(くぼ けんじ)

①東京教育大学体育学部体育学科(S49.3)／東京教育大学大学院体育学研究科修士課程体育史専攻(S52.3)／②体育学修士／③日本体育学会、日本体育科教育学会、教育科学研究会、学校体育研究同志会④多くの大学入試が中止された年で、「本命」を見失ったまま受験しました。そのためか、運動部に所属するも2年次にプレイヤーに挫折、体育指導者それも特に初心者指導者としての知識と技能を磨きました。⑤哲学書から推理・時代小説、コミックまで「活字中毒」を自認。

平成30（2018）年度 事業計画の基本について―日本体育大学―

建学の精神、ミッション、ビジョンに新たな息吹を吹き込み、 「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として進化する

◆策定にあたって

学長 具志堅 幸司

このほど、「建学の精神」の解釈、「ミッション」「ビジョン」の改訂に伴い、向後5カ年にわたる中期目標・計画として、『日本体育大学グランドデザイン2018―2022―「体育・身体活動・スポーツを通じた健康で豊かな社会・人づくりの実現」に向けて―』を策定した。本学は、平成30（2018）年度より、5学部9学科、3研究科4専攻を擁する、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として、さらなる教育研究、社会貢献活動の推進及び競技力の向上を目指していかねばならない。

一方、2050年、我が国の人口は、9,700万人台まで減少し、そのうちの4割近くが高齢者で占められると言われている。少子高齢・人口減少社会に向かつて進んでいくなか、日本社会全体の生産性を維持し続けるためには、本学がこれまで一貫して追究してきた体育・身体活動・スポーツの実践を通じて、心身の健康を育むという姿勢は、さらにその重要度を増すものと考えられる。

このグランドデザインは、来る2020年オリンピック・パラリンピック東京大会後を見据え、本学のあるべき姿と進むべき方向性をその具体的施策とともに示すもので、全構成員が一丸となってこれに取り組み、日本体育大学の更なる進展に繋げていきたいと強く願うものである。

建学の精神

(基本理念:創立の想い、設置目的)

た い い く ふ き ょ う の も と い

體育富強之基

真に豊かで持続可能な社会の実現には、心身ともに健康で、
体育スポーツの普及・発展を積極的に推進する人材の育成が不可欠である。

本学は、その母体を明治24(1891)年に設立された体育会(翌年、日本体育会に改称)とし、この時、創設者日高藤吉郎が掲げた、「體育富強之基」(「体育は富国强兵の基本である」)を建学の精神としている。

昭和24(1949)年、日本体育大学体育学部設置に際し、国際平和の実現に寄与する国づくりを念頭に、その精神は、「体育は肉体をより強靱に富ます基礎である」と解されるようになった。

さらにその後、本学が創設以来、一貫して、スポーツを通じ、全ての人の願いである“心身の健康”を育み、あわせて世界レベルの優秀な競技者・指導者の育成を追求し続けてきたことに鑑み、今日、この建学の精神(基本理念)は、上掲の通り、解釈が加えられている。

ミッション

(社会的使命:果たすべき役割、存在意義)

本学は、「建学の精神」の具現化、即ち、「体育・身体活動・スポーツを通じた健康で豊かな社会・人づくりの実現」のため、次の使命を果たす。

1. 体育スポーツ学、教育学、保健医療学分野における先駆的・実践的研究を通じて、人間の「活力ある身体」について、その真理を探究する。
2. 国際社会・地域社会において、先導的役割を担う有為な人材を輩出し、人類共通の願いである、幸福で豊かな社会の構築に資する。
3. スポーツ文化の深化・発展に努め、オリンピック・パラリンピックムーブメントの精神の実践・普及を推進し、スポーツのもつ様々な「力」を活用して、国際平和の実現に寄与する。
4. 高度な国際競技力を有し、他者の「生き方」モデルとなる優れたアスリートを育成するとともに、人間の心身の可能性(生命の輝きや身体の躍動など)を追究し、活力に満ちた社会の創生に貢献する。

ビジョン

(目標:目指すべき姿、将来像)

本学は、その社会的使命を果たすとともに、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として、かかる分野のリーディング・ユニバーシティを目指し、「教育」「研究」「社会貢献」について、次の目標を定める。

【教育】

人間の「活力ある身体」を熟知し、その多様性を受け容れ、地球市民として各分野で活躍できるグローバルリーダーを育成する。

そのため、教養及び専門的知識・技能の修得、涵養はもとより、コミュニケーション力(言語・表現力)、課題発見・解決力、創造的思考力などを身につけ、複眼的な視点をもって協働・共生のできる人材を養成する。

【研究】

真摯な基礎研究と課題解決に向けた実践的研究を高い水準で展開し、各専門分野の連携を図りながら、学際的研究に取り組むとともに、その成果を広く社会に発信する。

とりわけ、体育・身体活動・スポーツの実践から生じる諸問題について、人文科学・社会科学・自然科学の諸分野から総合的に分析・検討を加え、得られた新たな知見や解決法を実践現場に還元する双方向的研究活動を推進する。

【社会貢献】

あらゆるステークホルダーとの関係強化を図るとともに、国内外の諸機関との連携・協力関係を構築し、本学の教育・研究活動の成果、人的・知的財産などを還元する。

これにより生涯学習の機会を提供し、地域の教育、福祉の発展に貢献するとともに、大学と社会との「知と技」の好循環を創出することにより、地域社会の力を引き出す大学として、その拠点を形成する。

- 2022 (中期目標・計画)

社会・人づくりの実現」に向けて～

Action plan 具体的な方策

本学の新たな「ミッション」「ビジョン」を具現化するために、その基本施策を以下の通り掲げる。これらの取り組みをより実効性の高いものとするためには、まずは、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」に相応しい、組織運営体制の構築が求められる。

日体大のさらなる魅力を打ち出すべく、様々な変化を好機と捉え、教職員一人ひとりがその業務に誇りをもつて取り組める組織・制度の確立とその運用に努め、それぞれの基盤整備を進めていくものである。

☆教育(人材育成)基盤の整備

各々の専門性を究めることはもとより、時代・社会の変化に即応でき、いかなる分野においても必要とされ、世界に通用する人材を育成するために、その教育体制を再構築する。

①教育改革の推進

- ・体育学部カリキュラムの改編
- ・児童スポーツ教育学部カリキュラムの改編
- ・CSC (Community Sport Coordinator) 制度創設と人材育成の充実(合同窓会との連携)
- ・図書館情報(リテラシー)教育の充実
- ・教職関連科目履修者への支援強化
- ・教職関連科目の改編(新学習指導要領対応)

②「全学共通教育プログラム」(仮称)の構築(入学前教育、初年次教育の充実を含む)

- ・「日体大独自の『教養』(「日体力育成プログラム」)の具体的検討
- ・新たな履修制度の構築(含オープン科目、大学院早期履修科目の設定他)
- ・習熟度別授業の設定

- ・入学前教育、初年次教育プログラムの見直し(含共通テキストの開発)
- ・担任制度の見直し
- ・「留学生科目」(全学共通)の検討
- ・オリンピック・パラリンピック東京大会の対応

③教育プログラムの質保証体制の強化(学修成果の点検・評価の再検証を含む)

- ・各学部3ポリシーの見直し
- ・ディプロマ・ポリシーの厳正運用
- ・成績評価基準(含GPA)の再検討
- ・FDによる教授方法の改善
- ・教職関連プログラムの拡充(研修会・試験対策等)

④グローバル人材育成の強化(キャリア支援プログラムの充実を含む)

- ・海外提携大学との単位互換制度の構築(含留学推進)
- ・海外実習の充実
- ・JICAとの連携強化(含多言語修得・異文化理解プログラム検討)
- ・外国語学修の支援(資料・教材の整備)

⑤入試制度の検証(受験者層の拡大を含む)

- ・入試区分毎の募集人員見直し(含アドミッション・ポリシー)
- ・特別入試の充実(含グローバル人材の獲得)
- ・Web出願の拡充
- ・新たな選抜区分の検討
- ・一般入試実技試験の在り方検討
- ・併設校入試の在り方検討
- ・広報媒体(ホームページ、大学案内等)の有効活用と充実
- ・全学的広報活動(全教職員による)の積極的展開

⑥学修環境の整備

- ・特別教室(PB教室、PBL対応教室等)の拡充
- ・健康・安全体制の充実(含健康相談医、AED等の適正配置)
- ・衛生環境の保持(インフルエンザ等対策)
- ・教場備品等の整備(椅子、AV機器、照明等)
- ・学習スペースの拡充(含図書館閲覧席)
- ・学修支援システムの有効活用(含モバイル化、教員学生間連絡)
- ・障がいのある学生の学修環境整備
- ・学生食堂の充実(座席増設等)
- ・学生寮の整備(含女子学生対応)
- ・通学路線の拡充

☆研究基盤の整備

基礎研究と実践研究、さらには各専門分野の連携による学際的研究など、個別の研究を縦横に繋ぎ、かかる分野において卓越した成果を発信できるように、継続的な支援を展開する。

①研究活動に関する指針・計画の再検証

- ・基本方針・計画(5カ年)の見直し
- ・研究活動に関わる規程類の見直し

②学内学術資産(人的・知的財産を含む)の積極的活用

- ・資料の収集・整備・利用促進
- ・「日体史料」の収集・整理・保存
- ・所蔵資料(情報)の積極的提供
- ・図書館の積極的開放
- ・研究拠点の整備(運営体制・人材配置等)

日本体育大学グランドデザイン2018

～「体育・身体活動・スポーツを通じた健康で豊かな

・委託研究(含科研費)等の継続と展開

③研究成果の集積・発信方法の改善

・機関リポジトリのコンテンツ収集・維持・管理
・日本体育大学紀要の発行
・ホームページの充実

④若手研究者のキャリア形成支援

・学内助成金(学術研究補助費)の見直し
・リサーチ・フェロー(RF・助教)の登用・育成
・特別研究員(日本学術振興会等)への支援強化(含登用)

・キャリアパス支援モデルの構築

⑤総合スポーツ科学研究センターの改組(全学的な共同研究体制の構築を含む)

・「研究推進機構」(仮称)への改組
・予算配分の再編
・研究所における研究推進(含研究ユニット構築、学外機関連携)

☆社会貢献基盤の整備

教職員・学生による人的・知的貢献を活発化し、国際社会、地域社会との連携・交流を進展させ、協力し合い、その共同活動(共生拠点としての機能)を拡充する。

①社会貢献活動に関する計画・目標等の再検証

・地域の課題解消に向けた地域研究の推進
・公開講座・スポーツ教室等を通じた知的・人的財産の還元

・地域防災の強化・推進

②各種スポーツイベントへの積極的参画

・学内広報の積極的展開
③国際貢献事業の推進(JICA ボランティア活動を含む)

・JICA ボランティア(短・長期)への参加促進
・国際コミュニケーション能力テスト(TOEIC等)の推奨

・語学学習の機会整備

・海外協定校教員の招聘・スポーツ交流の推進

・英語圏、開発途上国大学との交流促進

・JICA 駒ヶ根訓練所短期研修制度の構築

④学校法人日本体育大学が取り組む地方自治体との連携強化への協力

・地方自治体との連携強化の支援

⑤産官学連携事業の強化

・パイロット養成講座の開設
・モータースポーツドライバール養成講座の開設

☆競技基盤(アスレティックデパートメント)の整備

優れたアスリート、指導者の育成・支援と体育スポーツを通じた大学及び社会の発展への貢献を本学の教育研究、社会貢献活動の総合的目標のひとつに位置づけ、その更なる充実を図る。

①2020 東京大会への選手、役員・指導者派遣

・スポーツ専門職(コーチ、トレーナー)の効果的

配置

・効果・効率的スカウティングの展開(含移動車両の提供等)

・トレーニング施設(設備)の整備・充実

・メデイカルサポートの充実(治療用器具の計画的配備)

②NAS を拠点とした競技力向上サポートの強化・充実(リスクマネジメントを含む)

・サポートデータの有効活用

・人材の適正配置

③新たな強化費配分の枠組みの構築

・関連規程の見直し

④学生アスリートに対するデュアルキャリアプログラムの充実

・スポーツ庁委託事業の継続(学内予算化)

・研修会の実施

・学修支援の充実

⑤コーチングエクセレンスセンターを拠点とした指導者研修・職能開発の推進

・コーチ養成プログラムの開発

・コーチデベロップの育成推進

・コーチ向け(スキルアップ)研修会の実施

・コーチング情報の積極的発信

⑥新たなスポーツの価値を創造する収益事業の推進

・スポーツ庁委託事業の継続(収益事業の推進)

・オリンピックズクラブとの積極的連携

・「日体大」ブランドの価値向上



いっそう期待に応える大学へ。

～教育の質的充実の取り組み～

過去10年ほど横ばいで推移してきた18歳人口は、この2、3年後以降、再び減少することが予測されている。選ばれる日体大として確固たる地位を築くために、改革をさらに加速していかなければならない。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催、そしてスポーツに限らず社会のあらゆる局面でグローバル化が進む中で、今やライバルは世界である。国内に目を転じれば、体育・スポーツ、健康系の学部・学科が増え、激しい競争が続いている。

言うまでもなく、大学の評価は社会において有益な人材を育成することにかかっている。日体大の伝統とポテンシャルを武器としつつ、計画→実行→評価→改善のプロセスを継続し、教育のいっそうの質的充実に努めていく必要がある。

①教育の質保証が求められる経緯と背景

知識基盤社会の到来、グローバル化、少子高齢化などを背景に、高等教育の社会的責任が一層重いものとなっている。大学全人時代を迎え、大学の質の低下が指摘されているのに対し、中央教育審議会では、「学士課程教育の構築に向けて」の答申を発表し、各大学に「学位授与」「教育課程」「入学者受入れ」の三つの方針の明確化と、卒業生の学士力の強化を強く要請してきた。

さらに、各大学に多様なニーズに対応する大学教育の質の向上のため、公的な質保証システムの構築と、また教育情報、財務状況の一層の公開を要請している。教育情報では、「何を学ぶことができるのか」（教育の目標・内容・成果）を重視し、教育の成果が強く求められている。こうした流れを受けて、大学設置基準の改正、認証評価制度、情報公開制度（大学ポータル等）の導入が進められてきた。

つまり、大学が自らの教育の質を保証するため、学士課程全体の改善のためのシステムを構築し、機能させているかが問われている。本学も、今号の「平成30年度事業計画の基本について」で紹介してきたように、建学の精神、ミッ



ション、ビジョンを根底に、時代の要請に応えた教育や事業の方向性と施策を打ち出している。

②学生が身につけるべき「日体力」とは

言うまでもなく、学生が大学において身につ

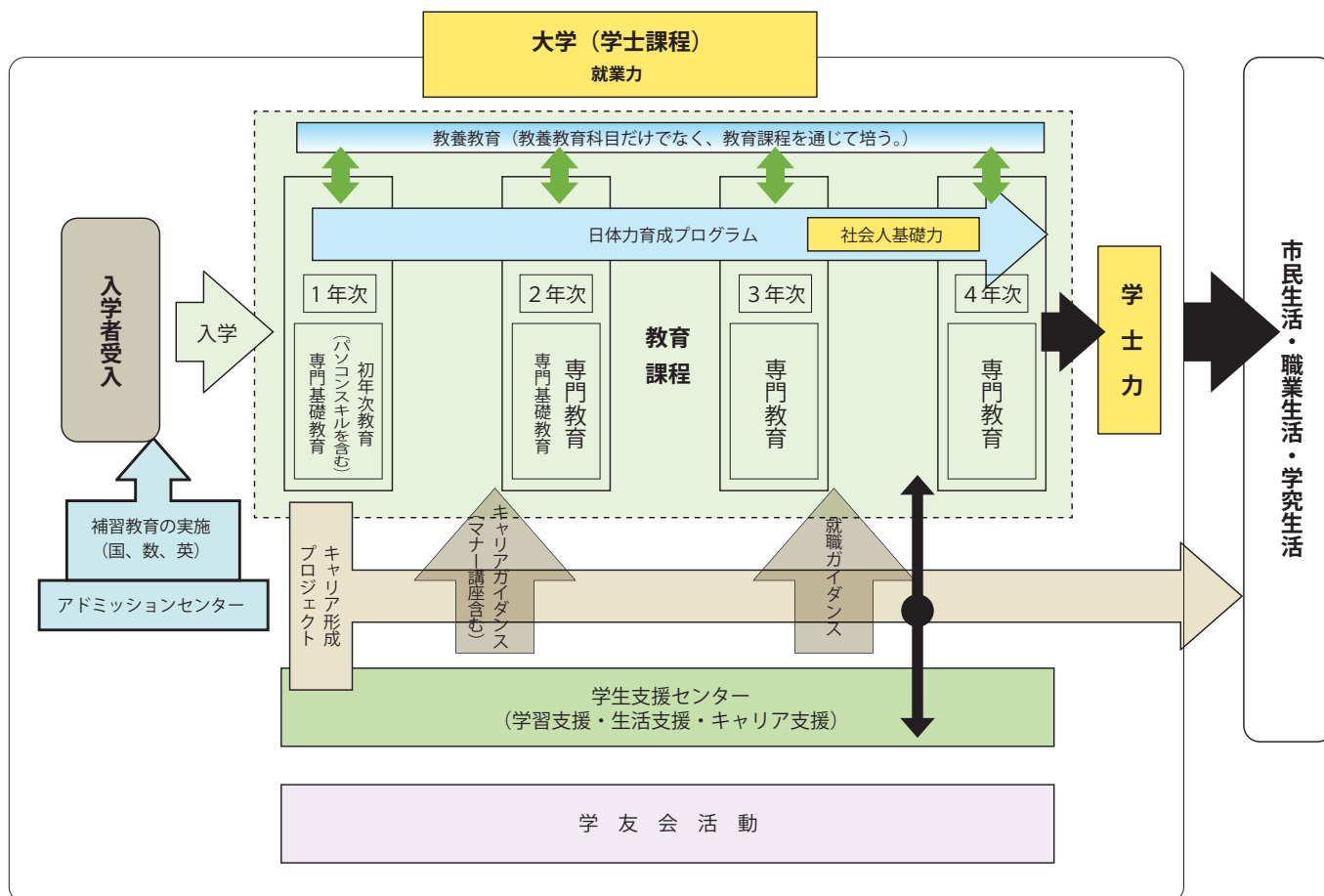
けるべき資質や能力を具体的に示し、そのための教授方法の工夫や成績評価の仕組みなどを明らかにして、「学士力」や「就業力」を獲得できるように努めていかなければならない。

では、日体生に求められる資質や能力とはどのようなものだろうか。「スポーツ」「身体」「生命」を基本とすることは普遍だが、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」を標榜するうえで、学生がそれぞれの興味・関心に合わせて多様な学びに取り組んでいく必要があるのではないか。

言い換えれば、狭義にスポーツの技術や知識を学ぶというより、スポーツを通して教養や社会人間力を学ぶといった発想転換がより必要になってくると考えられる。そこで身につけるべき基盤としては、グローバル化する知識基盤社会に通用しうる高い教養と専門的能力、具体的には、日本語の運用能力や英会話の能力を兼ね備えたグローバル対応が可能なコミュニケーション能力、自ら課題を発見してその解決に向けて取り組みることのできる能力、組織の一員として仲間と協力して目標を達成する力、他の追随を許さない実技能力などが挙げられるだろう。そしてこれらは、その習得レベルが検証・評価可能な形で示されなければならない。

現在、カリキュラムの改編、日体大独自の「教養」（日体力育成プログラム）の検討、アドミッシヨン・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの見直し、成績評価基準の再検討が進められているところである。FDによる教授方法の改善も注力していかなければならない。いずれにせよ、多様化する学生に対して、学修への興味喚起を促し、それを伸ばしていく関りがますます重要になってくるだろう。

日本体育大学学士課程のグランドデザイン



③「学生支援」や「キャリア形成」の取り組み
 こうした方針や施策が有効に機能していくためには、全学が一体となった展開が極めて重要であることは言うまでもない。さらに、学生の満足度のさらなる向上のためにも、対学生サービスの充実が欠かせない。

本学でも「学生支援センター」の設置をはじめとする組織改革を果敢に行ってきた。同センターは「学習支援部門」（履修、単位取得、日体力育成プログラム、修学相談、正課外活動等、学生が修学する上で必要となる各種支援業務を担当する）、「生活支援部門」（奨学金、賞罰、学友会活動、生活拠点、寮生活等、学生が学生生活を送る上で必要となる各種支援業務を担当する）、「キャリア支援部門」（キャリア形成プロジェクト、キャリアガイダンス、就職相談、新規就職先開拓、研修会や学習会の企画・運営等、学生のキャリアアップにつながる各種支援業務を担当する）の3つの部門からなり、これによってワンストップによる学生対応を展開し、利便性と即応性さらには各部門の協働関係の向上を実現している。

そして、習得した日体力を社会で発揮するためのキャリア形成支援も、さらなる充実が求められる。教員に加えて、民間のさまざまな業種や海外も含めて公的機関への志望も今後ますます広がっていくであろう。目指す目標は、本学が有する教育課程の内外を通じて獲得できる質の高い教養及び体育・スポーツ科学の知識と実践力を基底として、社会における強力な即戦力として活躍できる就業力及び自らの生涯にわたって充実したキャリアアップが図れる力の獲得である。そこでは、主体的な気づきや学び、社

会と関わりながら学ぶ態度の涵養を啓発・支援していかなければならない。

④求められる主体的取り組み

大学教育を享受する主役は学生であることは当然だが、今や教育の質保証はステークホルダー（同窓生、日体ファミリー、企業・行政・団体、地域の方々など）すべてに対する社会的責任ととらえられている。今号でも取り上げた通り、競技力向上、研究体制の充実、地域貢献活動の推進など、多岐にわたる活動に一層注力していかなければならない。社会的評価は大学の存続を左右するものであり、文部科学省も取り組みの強化を促している。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックは、本学の教育の質保証の取り組みの成果を発揮する好機となるだろう。目標として掲げる「70名の学生及び卒業生をオリンピック・パラリンピアンとして輩出」することに加えて、一人ひとりの学生が、それぞれの能力や興味に応じて、意欲的にムーブメントに関わることが期待される。英語を活かして諸外国の選手や観客をサポートする、文化的交流に参加する、急病や緊急時の対応をするなど、生かす場は多々あるだろう。それによって、学生自身と本学の社会的評価、ひいてはわが国の評価が確固たるものとなっていくはずだ。

そのためには、教職員全員が自身のこととして問題意識をもち、主体的に取り組んでいくことが肝要である。建学の精神、ミッション、ビジョンをあらためて自覚し、それぞれの持ち場で実践していかなければならない。

教職支援センター

Report ②

教職志望者の心強い味方「個別指導講師」

教員をめざして最初の一步を踏み出すとき、学びながら悩みを抱えたとき、

採用試験に向けて実践的な準備が必要なとき。

教員を志望するさまざまな過程で、一人ひとりをきめ細かくサポートしてくれるのが、「個別指導」です。

対応してくださるのは、教育現場や採用試験対策の経験が豊富で、しかもスポーツと日体大を心から愛する先生方ばかり。

自身の経験や教育にかける熱い思いを皆さんに伝えたいと、指導に取り組んでいます。

今号では、個別指導を担当している先生方のプロフィールを紹介します。

教え上手は学び上手。まずはセンターを訪れ、先生方と率直に話してみましょう。

- ①出身大学(部活)
- ②趣味・特技
- ③教師の仕事とは
- ④教師を目指す学生へメッセージ
- ⑤個別指導日



やまざき まさひろ
山崎 正巳 先生

①東京教育大学(剣道部)／②剣道(七段)、サイクリング／③子ども達の夢と希望を実現するため、共に学び、生活し、導いていく仕事／④教育に対する篤い気持ちをもって、教職を目指して欲しいです。／⑤健志台:水曜日

【経歴】東京都立羽田高等学校、都立日黒高等学校教諭／世田谷区教育委員会、東京都教育委員会指導主事／東京都立町田高等学校、都立大森高等学校副校長／東京都立九段高等学校、都立桜町高等学校校長／現、東京都教職員研修センター教授／東京都高校体育連盟会長歴任



しおや かずお
塩谷 和雄 先生

①日本体育大学(ハンドボール部)／②書道、スキー、ルペン競技観戦、映画鑑賞、珈琲／③「理想と現実の往復作業」1.子どもの学びと育ちの邪魔をしない事、2.「忙しい」「時間がない」「大変だ」を口にしない事、3.他人(ひと)のせいにならない事／④獅子王のごとく、堂々と、たゆみなく、前に進み続けよう。／⑤健志台:月曜日

【経歴】大和市立大和中学校教諭／神奈川県立大和南高等学校教諭／神奈川県立体育センター研修指導主事／神奈川県立体育センタースポーツ科学研究室室長／神奈川県教育委員会教育局保健体育課課長／神奈川県立相模原高等学校校長／(財)全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部長



かなり しんいち
神成 真一 先生

①東京学芸大学(剣道部)／②剣道(五段)、柔道(二段)、スキー、スケート／③子供のよさを引き出すこと。1%、2%にかける情熱。将来の社会の担い手として自立させること。／④あなたのかけた言葉のひとつが子供を育てる。ひとつの重みを大切にしてほしい。／⑤健志台:木曜日

【経歴】武蔵村山市立第四中学校教諭／武蔵村山市立第五中学校教諭／武蔵村山市立第四中学校教頭／武蔵村山市立第二中学校教頭・副校長／瑞穂町立瑞穂第二中学校校長／八王子市立ひよどり山中学校校長／小金井市立小金井第二中学校校長／東京都中学校体育連盟副会長歴任



やわた みつお
八幡 満夫 先生

①日本体育大学(陸上競技部)／②ゴルフ／③児童・生徒の健全な成長に寄り添って優しく時には厳しく付き合ひ、適正な進路決定を導くこと／④「弾力ある思考力と体験の蓄積から社会性を兼ね備えた人間力」「日々勉強」「明朗快活」／⑤健志台:火曜日

【経歴】新潟県立中条高校非常勤講師／逗子市立久木中学校／藤沢市立大清水中学校教頭／藤沢市立村岡中学校校長／藤沢市立湘洋中学校校長／藤沢市教育委員会非常勤(問題解決支援)／日本体育大学学生支援センター個別指導講師

■2018年度就職対策講座【教員志望者対象】

講座名	日程	主な対象	内容
教員個別指導	4月～3月	1～4年生	勉強方法、論文添削、面接指導など、各自の状況に合わせて指導を受けられる
日体教学会	5月～1月	2～3年生	教員を目指して勉学に励む学会、年間通じて指導
日体教学会 報告会	1月中旬～下旬(日程未定)	1～4年生	日体教学会生が1年間学んだ取り組みの発表、教育課題発表、模擬授業を実施
学校教員採用候補者選考二次対策講座	7月～8月	4年生	面接、集団討議、模擬授業、論文など二次試験で実施される内容の対策校種や自治体に特化した指導を行う。
教育委員会による教員採用試験説明会(千葉県・埼玉県・神奈川県・横浜市・相模原市・川崎市)	4月中旬～5月上旬	2～4年生	各教育委員会による採用試験説明会
教育委員会による教員採用試験説明会(東京都)	11月下旬～12月	1～4年生	東京都教育委員会による採用試験説明会
筆記試験対策講座:保健体育教員希望者	4/30～5/3	4年生	直前対策集中講座、改正点を重点的に指導(問題及び解説付)
教員採用試験一次試験直前対策講座	6月下旬～7月初旬	4年生	教員採用試験一次筆記試験を突破する事を目的とした講座(改正、変更点を重点的に)
筆記試験対策講座:専門教養(保健体育)	9月下旬～10月上旬	3年生	保健体育の専門教養を勉強するに当たってのポイント、勉強の進め方について
【教職教養】筆記試験対策講座	10月～2月下旬	1～4年生	教員採用試験:教職教養対策講座、平日の時間で講義を実施、合格者体験談を組み込む
【小学校全科】筆記試験対策講座	10月～2月下旬	1～4年生	小学校全科対策講座、平日の時間で講義を実施
【一般教養】筆記試験対策講座	3月初旬	1～4年生	一般教養対策講座、平日の時間で短期集中講義を実施
模擬試験(全5回)	4月・5月・12月・1月・2月(3月初旬)	1～4年生	全国公開模擬試験を学内で実施自分自身の現在地を知り、その後の勉強に役立てる
教員採用試験対策 準備・実践講座	4月～2月 年間10回	1～4年生	採用試験のためにどのようなことを準備するかを明らかにする(採用試験の問題分析の仕方、傾向の見つけ方、対策の仕方)
教育ニュースの読み方セミナー	前学期	1～4年生	教職を目指す学生へ新聞の読み方講座を実施
宿泊研修	9月15日～17日	3年生	二次試験対策。面接・論文指導を中心に行う。(相模原市)
教員採用試験対策 習熟度確認講座	2月	3年生	学生自ら主体的に継続して学んできた成果を確認
同窓会と連携した教員採用試験対策学習会	4月～8月	1～4年生	現役教師による講義、元管理職等の講師による面接・論文指導 教員を目指す学生に向けて、都道府県同窓会主催の採用試験対策講座



きんじょう かずさだ
金城 和貞 先生

①日本体育大学(基礎スキー部・ESS)／②スキー／③生徒ファースト:生徒のために汗を流せる教員を目指す教員です。／④教員になりたい強い意志と教員に必要な知識・経験を多く持つこと。教員採用選考に向けて、少しでも早く勉強と対策を行うこと。全力でサポートします。気軽に声をかけてください。／⑤世田谷:火曜日

【経歴】都立高校保健体育教員、教頭・副校長・校長／定年退職後、東京女子体育大学キャリアアドバイザー(教員志望者の指導)／保育専門学校で幼稚園教諭、保育士希望者の指導／日本体育大学教育実習指導担当特別教授、教学会講師／東京都ハンドボール協会参与、東京都スキー連盟理事



こはしかわ かずこ
小橋川 和子 先生

①日本体育大学(スピードスケート)／②クラシック音楽鑑賞／③こんなやりがいのある仕事はありません!／④夢の実現に向け、いかなる困難をも避けてに挑むべし!その先にはきっと素晴らしい世界があなたを待っています!／⑤世田谷:水曜日

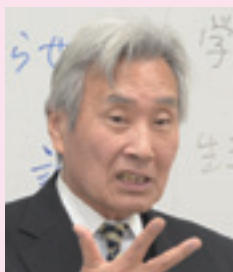
【経歴】東京都立高等学校教員／東京都立高等学校管理職／日本体育大学教育実習指導担当特別教授／日本体育大学非常勤講師／日本体育大学個別指導講師



かたやま のぼる
片山 昇 先生

①日本体育大学(体操競技部)／②ドライブ、カラオケ、晩酌／③大切な子どもの「命」を預かり、それを守り育てていくプロ!大人になっても、しっかり「あいさつ」のできる、元気なあいさつの響きわたる楽校づくりのプロ!／④あなたより有能な教師は山ほどいる。でもあなたは世界でたった一人だ!ということ!／⑤世田谷:木曜日

【経歴】日本体育大学人文科学研究室研究生／東京教育大学、日本大学を経て、埼玉県立高等学校教諭(保体・社会)／埼玉県立高等学校管理職を経て、日本体育大学、東京国際大学、国際武道大学(院)非常勤講師／日本体育大学教育実習指導担当特別教授



わた り じゅんぺい
巨理 純平 先生

①東京学芸大学(バスケットボール部)／②ドライブ、写真撮影／③愛と知恵を伝え、一人ひとりの伸びる芽をみつけ育てる仕事／④元気 本気 根気等 気が溢れ、スペシャリストからオールラウンダーを目指してください。／⑤世田谷:金曜日

【経歴】東京都狛江市・世田谷区2校で教諭／世田谷区2校で教頭／江戸川区教育委員会 指導主事／東京都教育委員会指導主事・統括指導主事／調布市・武蔵野市2校で校長



かわい あさはれ
河合 朝晴 先生

①日本体育大学(バスケットボール部)／②旅行・ゴルフ／③生徒一人一人の個性を引き出し、自主自立した社会人としての活躍できるための人材育成／④「教師になる」強い意志が、合格への第一歩です。過去の問題を分析して対策を立て、計画的に実践しましょう!／⑤世田谷:月曜日

【経歴】愛知県公立高等学校勤務、各校で学年主任、生徒指導主事、教頭等を歴任／早稲田大学大学院教育学研究科修士課程「学校教育専攻」修了／日本体育大学教育実習巡回指導特別講師／日本体育大学教育実習指導担当特別教授・河合塾講師／同窓会と連携した教員採用試験対策学習会講師



うしじま みえこ
牛島 三重子 先生

①日本体育大学(硬式テニス部)／②茶道・ゴルフ・釣り／③日本を担う人材の育成をする重要な職務であり責任が伴います。大変ですが、やりがいのある仕事でもあります。／④人間が好きで、様々な人とのコミュニケーションをとることができ、強い心身と、協調性、誠実・勤勉、素直で思いやりがあれば大丈夫です。／⑤世田谷:月曜日

【経歴】台東区立竜泉中学校養護教諭／荒川区立第二瑞光小学校養護教諭／足立区立東栗原・千寿第二小学校養護教諭／東京都教育庁体育部体育健康指導課指導主事／東京都教職員研修センター統括指導主事／江東区立南砂小学校校長／台東区立金竜小学校校長



さとう まさし
佐藤 正志 先生

①千葉大学(演劇部)／②歴史を歩くこと／③未来を担う子どもたちの成長を手助けする、大変ですがやりがいのある仕事です。／④教師の基本は、明るく元気で好奇心の旺盛なことです。今のうちに色々な経験をしておきましょう。それが、教師としての幅を広げることに繋がります。／⑤世田谷:火曜日

【経歴】東京都公立小学校教諭、教頭、統括指導主事／東京都公立小学校校長／東京教師養成塾教授／白梅学園大学子ども学部教授／協同教育研究会講師(論作文・面接担当)、文部省指導資料作成協力委員／現狛江市教育委員会教育委員長、現日本学校図書館学会副会長



ほしこし けんいち
星越 健一 先生

①日本体育大学(陸上競技部)／②スキー、映画鑑賞、旅行／③児童生徒には等しく接し、児童生徒の良さを認め、伸ばしてあげること。／④誠実、謙虚に、そして粘り強く前向きに取り組むこと。「至誠天に通ず」／⑤健志台:金曜日

【経歴】東京都千代田区立練成中学校教諭／東京都世田谷区立尾山台中学校教諭／東京都町田市南中学校教諭／東京都町田市立小山田中学校副校長／東京都町田市立南成瀬中学校校長／東京都町田市教育委員会指導主事

日本体育大学の教員養成について

日本体育大学では、“日本体育大学 建学の精神”のもと、以下のような教員養成を目指している。

【養成する教員像】

将来を担う子供たちの教育に対する強い使命感のもと、社会が期待する教育の推進・充実に資する資質・能力を有し、実践できる教員

【養成すべき4つの力】

1.人間性

教育者としての人間性を身に付け、高めていく力

<具体的な資質・能力等>
道徳心、思いやり、誠実、協調性、人間的魅力 等

2.社会性

子供たちの模範となる社会性を身に付け、高めていく力

<具体的な資質・能力等>
責任感、コミュニケーション能力、課題解決力、組織人の一員としての自覚 等

3.専門性

日本体育大学の歴史と伝統に培われた本学ならではの理論と実践に基づいた専門性を身に付け、高めていく力

<具体的な資質・能力等>
教養、専門的知識、児童生徒理解、指導力、企画力、言語能力、表現力、創意工夫 等

4.国際性

世界的な視野のもとで、教育に貢献できる国際性を身に付け、高めていく力

<具体的な資質・能力等>
多様性、伝統・文化理解、国際的なコミュニケーション能力、多様な言語・表現力 等

◆プロフィール

阿部一二三 (あべ・ひふみ)

体育学部3年 柔道部所属。兵庫県神戸学園高校卒業。グランドスラムでは2014年東京をはじめ、16年チュメニ、16年東京、17年パリ、17年東京などで優勝を果たし、17年には世界柔道選手権で優勝。東京に出てきて何もかも自分でやらなければならないことで両親のありがたさを身に染みて感じたという。リフレッシュは友人と買い物に出かけたり、話をしたりすることなど。

Next is us

日体魂の聖火リレー

～日体魂を受け継ぐ者～

04

阿部
一二三

柔道

一、二、三と一步一步着実に、
そして圧倒的な力でトップに立つ

柔道をはじめたきっかけ

6歳のときにテレビで柔道の試合を見ました。そのとき、直感的にかっこいいと感じたのです。そこで両親に「柔道をやりたい」と頼み、兵庫少年こだま会の門を叩き柔道人生がスタートしました。その後、対戦相手だった女の子に投げられ、一本をとられて負けたことがありました。それが悔しくて、悔しくて、柔道にのめり込むことになりました。「もつと強くなりたい、負けて悔しい思いをしたくない」と、父と本格的なトレーニングを始めました。

子どもだった私を相手にしっかり指導をしてくれ、体幹がぶれなくなりました。それから1年くらい経ったころ、ある大会で優勝することができました。日々の努力が実を結び成果として現れたことが嬉しかったです。そして「努力は裏切らない」ということを実感しました。自分の名前の「二三」は一步一歩着実に歩んでいくようにという意味を込めて名付けられたのですが、それを実践していこうと自分に誓いました。

一本をとり勝つ、豪快な柔道を 見せた

柔道の魅力は豪快な投技で一本を取ることだと思えます。迫力ある試合のほう観客も盛り上がりやすい、あの選手がまた決めてくれるのではないかと期待してくれるでしょう。ですから私はそういう一本を取りにくい柔道をしたと考えると、自分自

身もダイナミックな柔道に魅せられて始めたこともありまうから、特に豪快な技を見てほしいと思います。試合が始まって考えるのは相手を投げることでいいです。強い選手に共通すると思いますが、私にも、「ここでこうすれば勝てる」とか、「これだけ抑えておけば負けない」とか、試合運びの感覚や勘のようなものがあります。それを信じて闘っています。それは日々の練習の成果だとも言えるでしょう。いろいろなスポーツがあり、どれも魅力があると思います。でも、私にとっては柔道が一番とにかく柔道一直線です。

妹とともに優勝を果たした

2017年9月の世界柔道選手権大会で初優勝したことは、非常に印象に残っています。世界チャンピオンになりたいと願いつけて、トレーニングを積んできた結果、夢が実現したのです。さらにその後、12月のグランドスラム東京大会で2連覇したことは自分にとって大きな意味があったと思います。なにより嬉しかったのは3歳年下の妹・詩（うた）も同大会で優勝し、兄妹で優勝を飾れたことです。喜びと同時に、これからはもつと妹の手下となるべく柔道に取り組みまないとけないと、気が引き締まりました。私にも目標とする柔道家がいます。それは野村忠宏さんです。以前野村さんとお話をさせていただいたときにプレッシャーについてアドバイスをいただきました。プレッシャーをいかに受け止めていか、また強くなっていくうえで、必ず乗り越えなければならぬとも教えていただきました。以来、プレッシャーは楽しめるようになりまし

日体大は自分を強くしてくれる最高の場

日体大のココがスゴイ！

①恵まれた練習環境

施設はもちろん、柔道で言えば軽量級の選手層が厚いうえに、先生がとても熱心に指導してくださいます。出稽古の機会も多くあり、自分が強くなっていく実感があります。

②アスリートたちから受ける刺激

柔道だけではなく、あらゆる競技のトップアスリートがいるので、彼らから刺激を受けることができます。

③同じ目標を目指す仲間からの刺激

仲間から刺激を受けることはもちろん、支えにもなってくれる大事な存在。切磋琢磨できる環境です。

日体大でココを学んでほしい！

①先輩から学べ！

日体大には素晴らしい先輩方、メダリストや輝かしい記録を持つOB・OGがいっぱいいるので、その姿に触れ、どうすれば強くなれるかを学んでほしいと思います。

②授業を大切に！

授業にしっかり出て、先生の話をしっかり聞くことです。そのあたり前のことをきちんとできることが大事です。

③チャレンジせよ！

いろいろなことにチャレンジすること。4年間はあつと言う間ですから日々真剣に生きてほしいと思います。

東京大会では圧倒的な強さで勝つ

日体大には東京オリンピック・パラリンピックを目指すアスリートが多くいます。そんな選手たちを見ると、私も刺激を受けます。それが日体大のいいところでもあるし、誇りでもあります。東京大会は日体大にとって、非常に歴史に残る大会になると確信しています。また、自分にとっても東京オリンピック・パラリンピックは非常に大きな意味があります。リオでは代表入りを果たせず、悔しい思いをしました。その思いをこの大会にぶつけたいと考えています。ですから、東京大会では圧倒的な力を見せて優勝するのが目標です。そのためにどうすれば成長できるかを考え、自分に磨きをかけ、1日1日をしっかりと目標をもつて練習に取り組んでいます。努力は天才を越えるのです。また、そのとき妹と一緒に優勝できれば、これ以上幸せなことはないです。

[Next is us 日体魂の聖火リレー]

◆河本選手・木村選手からの質問に答えて

『どのようにモチベーションを維持していますか。また、どういう風に練習で自分を追い込んでいますか』

2020年の東京大会で優勝するという目標に向かって、それをしっかり見据えて毎日やるべきことを確実にやるだけです。ただ、それだけではなく、一つひとつ、目の前の大会も大切に考えて取り組んでいます。

次に登場するアスリートに向けて、阿部選手からエールをいただきました。

◆阿部選手からのエール

競技は違いますが、お互いに刺激しあい、日体大関係者として東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げていきたいです。ともに、日体大生や日体大卒業生としての誇りを持って全力で立ち向かいましょう。

次号アスリートへ、リレー質問を展開していきます。ご期待ください。

NITTAI Group の絆が未来を拓く

日本各地に、そして世界を見据えて、学校法人日本体育大学のフィールドは展開しています。
皆さんもその一員。ともに手を携え、未来を、スポーツの新しい時代を切り拓いていきましょう。



日本体育大学荏原高等学校

建学の精神・校訓	知・徳・体 求めて学び・耐えて鍛え・学んで之を活かす
設立	1904 (明治37) 年
所在地	〒146-8588 東京都大田区池上8-26-1 TEL 03-3759-3291
URL	http://www.nittai-ebara.jp



日本体育大学附属高等支援学校

建学の精神・校訓	體育富強之基、正しく明るく仲良く
設立	2017 (平成29) 年
所在地	〒093-0045 北海道網走市大曲1-6-1 TEL 0152-67-9141
URL	http://s-nittai.ed.jp



日本体育大学柏高等学校

建学の精神・校訓	健康と信用は最高の宝
設立	1960 (昭和35) 年
所在地	〒277-0008 千葉県柏市戸張944 TEL 04-7167-1301
URL	https://k-nittai.ed.jp



日本体育大学

建学の精神・校訓	體育富強之基
設立	1891 (明治24) 年
所在地	東京・世田谷キャンパス 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 TEL 03-5706-0900 (代表) 横浜・健志台キャンパス 〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 1221-1 TEL 045-963-7900 (代表)
URL	https://www.nittai.ac.jp

自治体連携協定推進事業 協定先一覧 (平成30年3月20日現在)

自治体名	締結日
美作市 (岡山県)	平成26年12月1日
愛知県	平成26年12月2日
紀の川市 (和歌山県)	平成27年2月12日
泉佐野市 (大阪府)	平成27年2月12日
北山村 (和歌山県)	平成27年2月23日
小菅村 (山梨県)	平成27年2月26日
網走市 (北海道)	平成27年3月21日
江南市 (愛知県)	平成27年3月27日
駒ヶ根市 (長野県)	平成27年5月14日
七尾市 (石川県)	平成27年5月21日
志賀町 (石川県)	平成27年5月22日
中間市 (福岡県)	平成27年6月15日
島原市 (長崎県)	平成27年6月1日
氷見市 (富山県)	平成27年7月3日
神崎町 (千葉県)	平成27年7月6日
上越市 (新潟県)	平成27年7月13日
大山崎町 (京都府)	平成27年7月24日
勝山市 (福井県)	平成27年8月3日
呉市 (広島県)	平成27年8月27日
柳井市 (山口県)	平成27年9月3日
阿南市 (徳島県)	平成27年10月1日
中標津町 (北海道)	平成27年10月5日
三種町 (秋田県)	平成27年10月25日
みなべ町 (和歌山県)	平成27年10月27日
守山市 (滋賀県)	平成27年10月30日
厚木市 (神奈川県)	平成27年11月4日
南魚沼市 (新潟県)	平成27年12月7日
海士町 (島根県)	平成27年12月21日
男鹿市 (秋田県)	平成28年2月23日
可児市 (岐阜県)	平成28年2月29日
東松島市 (宮城県)	平成28年3月24日
小田原市 (神奈川県)	平成28年3月25日
香美町 (兵庫県)	平成28年3月28日
徳之島町 (鹿児島県)	平成28年4月13日
岩国市 (山口県)	平成28年4月27日
岩美町 (鳥取県)	平成28年6月27日
品川区 (東京都)	平成28年6月29日
笠間市 (茨城県)	平成28年7月11日
狭山市 (埼玉県)	平成28年7月25日
中山町 (山形県)	平成28年8月29日
別府市 (大分県)	平成28年9月6日
宮古市 (岩手県)	平成28年10月17日
始良市 (鹿児島県)	平成28年10月31日
桶川市 (埼玉県)	平成28年11月30日
常総市 (茨城県)	平成29年1月26日
大子町 (茨城県)	平成29年1月26日
藤井寺市 (大阪府)	平成29年2月9日
都城市 (宮崎県)	平成29年5月19日
市川三郷町 (山梨県)	平成29年12月19日
北杜市 (山梨県)	平成30年1月23日
米沢市 (山形県)	平成30年3月20日

計51自治体



浜松日体高等学校

建学の精神・校訓	積志力行・清節篤行
設立	1962 (昭和37) 年
所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山3-30-1 TEL 053-434-0632
URL	http://www.h-nittai.ed.jp



浜松日体中学校

建学の精神・校訓	積志力行・清節篤行
設立	2002 (平成14) 年
所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山3-30-1 TEL 053-434-0632
URL	http://www.h-nittai.ed.jp



日本体育大学医療専門学校

建学の精神・校訓	生命の尊厳を自覚し、人間として謙虚な心と 仁愛の心をもった有為な人材を多く輩出する。
設立	1973 (昭和48) 年
所在地	〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-2-7 TEL 03-5717-6161
URL	http://www.nittai-iryo.ac.jp



日本体育大学桜華高等学校

建学の精神・校訓	健康・努力・敬愛
設立	1958 (昭和33) 年
所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-5-1 TEL 042-391-4133
URL	http://www.ohka.ed.jp



日本体育大学桜華中学校

建学の精神・校訓	健康・努力・敬愛
設立	1994 (平成6) 年
所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-5-1 TEL 042-391-4133
URL	http://www.ohka.ed.jp



日体幼稚園

建学の精神・校訓	健康第一主義の教育を通して 豊かな人間性を形成する
設立	1955 (昭和30) 年
所在地	〒158-0081 東京都世田谷区深沢8-4-1 TEL 03-3701-4450
URL	http://www.nittai-kindergarten.ed.jp

※各校情報 (平成30年3月27日現在)

社会の課題解決に貢献する

～平成29年度 日本体育大学社会貢献事業の取り組み例～



加速する少子高齢化は、社会全体の活力を低下させるなど、さまざまな影響が懸念されています。地域と連携しながらこの問題の解決に貢献することは日本体育大学の大きな使命です。日本体育大学社会貢献推進機構がイニシアティブをとり、老若男女、障がいの如何にかかわらず、皆が参加できる体育・スポーツを通じた健康の維持・増進への取り組みを充実させることを、全学を挙げて目指しています。

平成29年度からは、地域が抱える体育・スポーツや健康に関する課題などを明らかにし、解決に資する取り組みを充実させ、地域の活性化を図ることを主たる目的とした研究活動を本格的にスタートさせました。

「地域住民の体力向上・健康増進」及び「地域住民のスポーツへの関心向上」の2つのテーマに加え、新たに①地域障害者スポーツ機会の向上と指導者支援、②学校体育の充実、③地域スポーツ指導者の意識・技術向上、の3つのテーマに取り組むこととしました。

今後は研究成果を踏まえ、さらに充実した活動を推進してまいります。

社会貢献活動に関する各種の取り組み

■体育・スポーツ活動支援

学生ボランティア派遣依頼により、校友会や人材バンク（ボランティア登録名簿）等から延べ933名を派遣。本学ならではの「体育・スポーツを通じた社会貢献活動」を活発に行っています。

■教育活動支援・ボランティア他

教員を目指している学生を中心に派遣し、各種現場を体験することにより、実践力を身につけています。地域イベントの運営支援や高齢者施設での支援活動など、活動の場は多様です。

■地域美化活動

クリーン大作戦として、東京・世田谷キャンパス及び横浜・健志台キャンパス周辺の清掃を年4回（延べ404名）実施。学生のモラル向上とともに地域社会との交流を深めています。

■日体大スポーツフェスタ2017

平成29年12月10日（日）に東京・世田谷キャンパスにて小学生向けのスポーツ体験教室を無料で開催（207名参加）。現役学生が演技や競技を披露し、指導にあたりました。

■防災訓練

平成29年10月14日（土）～15日（日）に横浜・健志台キャンパスにて「防災訓練in日本体育大学」を実施。実践的な訓練で、253名の地域住民の方にご参加いただきました。

■せたがや災害ボランティアマッチングセンターコーディネーター養成講座

世田谷ボランティア協会との協定に基づく、被災者とボランティアのニーズをつなぎ円滑な支援ができるように調整する人材の育成を目的とする講座。平成30年2月に実施。

■第55回体育研究発表実演会

平成29年11月15日（水）に横浜アリーナにて開催。地域住民の方々1,126名を招待しました。

■社会貢献活動に関する表彰

出張体験教室などに積極的に参加・協力するダブルタッチサークルに感謝状が授与されました。



講 座 名		開催期間	回数	受講者数
健康運動教室	らくらくエアロピクス運動教室	H29/5～H30/1	9回	169名
指導講習会	救命蘇生法講習会	6/3 9/17	2回	66名
健康運動教室	ゆるヨガ～はじめてのヨガ～	6/11 6/25 10/15 10/29	4回	69名
指導講習会	筋トレのすゝめ	6/11 9/24 12/2	3回	44名
公開講座	女性の健康とスポーツ障害・事故の予防	7/1	1回	184名
健康運動教室	肩痛さようなら体操教室	7/2	1回	10名
指導講習会	水辺の安全教室	7/8	1回	10名
その他	からだのかたちと立位・歩行動作をはかる	7/8 7/15	2回	70名
公開講座	第26回幼児教育講座	7/22	1回	40名
公開講座	これもまた日体大の力！脳トレ	9/2 10/7 10/28 11/11	4回	23名
その他	体力測定	10/21 10/22 11/3～11/5	5日間	1,320名
公開講座	子どものこころ、親のこころ －家庭や学校における気になる子どもの理解と支援－	11/19	1回	20名
健康運動教室	膝痛さようなら体操教室	H30 2/18	1回	21名
指導講習会	生涯スポーツ振興講座	H30 2/20・2/21	2日間	14名
公開講座	心も体も弾んでダンスダンス	H30 2/25	1回	中止
			合計	2,025名



INTERNATIONAL FORUM



リール大学（フランス）との交流協定調印式

スポーツは、世界共通の人類の文化。
語学力を高めたり、留学や
海外ボランティアの経験をしたり、
国際感覚を磨くことによって活躍の場が広がります。
スポーツを軸に国際舞台での活躍を目指す皆さんを
サポートするのが「国際交流センター」です。

国際交流センター

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

当センターでは様々な英語に関するプログラムや留学・ボランティアに参加したい学生のサポートをしています。

ぜひ一度、国際交流センターまで足を運んでみてください。センター員一同、お待ちしております！

国際交流センター主催のプログラム

◆ キャンパス英会話レッスン 有料 / 要申込

- ・ 定員(先着順) 世田谷キャンパス：60名
健志台キャンパス：60名
- ※各キャンパス最少開講人数10名
- ・ 対象者：全学生、教職員
- ・ 受講料：前学期(後学期) 49,000円(税込)
前学期+後学期：96,000円(税込)



◆ Global Cafe 無料 / 予約不要

外国人講師を招き、多くの学生が英語に触れる機会を作ることを目的としています。

時間帯によってレベルが異なるのでスケジュールを確認の上、どんどん活用してください！



キャンパス	世田谷		健志台	
曜日/時間	11:30 ~ 13:30	16:00 ~ 18:00	11:30 ~ 13:30	16:00 ~ 18:00
月		Nichole (初級)	John (中級)	
火	Nichole (中級)		John (初級)	
水	Nichole (初級)			
木	John (中級)	John (初級)	Anna (初級)	Anna (保健医療学部向け)
金		John (中級)	Anna (中級)	Anna (初級)

◆ TOEIC IP テスト

年7回実施(4,6,7,10,11,12,3月予定)、N-passで案内・申込を行います。

◆ TOEIC 対策講座

前期：初級・中級(健志台)、後期：初級・中級(世田谷)で開催します。
初級は330~400点程度、中級は500~600点程度を目標としています。
講座期間：毎週月曜日 18:00~21:00(全6回)
詳細・申込についてはN-passで確認してください。

夢を、感動を、東京へつなぐ 平昌で高木美帆選手、高梨沙羅選手がメダル獲得



第23回オリンピック冬季競技大会（2018/平昌）は、7競技で史上最多の102種目を実施。日本は史上最多の13個のメダルを獲得した。続いて開催された第12回冬季パラリンピックでも10個のメダルを獲得し、日本勢の活躍と冬季競技の魅力を印象付けた大会となった。中でも、本学関係者の高木美帆、高梨沙羅らの活躍は、記憶に深く刻まれたことだろう。選手たちのひたむきな努力が花開いた。冬季五輪での本学関係者のメダル獲得は史上初。この喜びを、2年後の東京に向けたさらなる弾みとしたい。

【平昌オリンピック・パラリンピックおもな成績】

第23回オリンピック冬季競技大会（2月9日～2月25日）

選手名	所属・学年／出身・卒業年	競技種目	結果
高木 美帆	体育学部2017年卒／ 現：氷上スポーツ研究室助手	女子チームパシュート	1位★
		女子1500m	2位★
		女子1000m	3位★
		女子3000m	5位
高梨 沙羅	体育学部2018年卒	女子ノーマルヒル	3位★
坂爪 亮介	体育学部2012年卒	男子500m	8位
		男子1000m	5位
		男子5000mリレー	7位
田原 直哉	体育学部2003年卒	男子エアリアル	13位
小野 粧子	日本体育大学女子短期大学 2002年卒	アイスホッケー女子	6位
岩原 知美	体育学部2010年卒	アイスホッケー女子	6位
本橋 麻里	体育学部2012年卒	カーリング女子	3位★



◆第12回冬季パラリンピック（3月9日～3月18日）

選手名	所属・学年／出身・卒業年	競技種目	結果
本堂 杏実	体育学部4年	女子大回転	13位
		女子回転	8位
		女子スーパー複合	10位
小池 岳太	体育学部2006年卒	男子スーパー大回転	27位
		男子大回転	18位
		男子回転	18位
堀江 航	大学院後期課程2年	男子スーパー複合	14位
		アイスホッケー	8位



()内は女子内数

倍率＝受験者数÷合格者数

一般入試合格者は補欠線上合格者を含む

■平成30年度 入学試験結果

■日本体育大学 体育学部

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
体 育 学 科	A O	394	(154)	391	(154)	146	(56)	2.68
	推 薦	509	(175)	509	(175)	433	(151)	1.18
	一 般	2199	(562)	2099	(528)	375	(105)	5.60
	特 別	2	(0)	2	(0)	2	(0)	1.00
	合 計	3104	(891)	3001	(857)	956	(312)	3.14
健 康 学 科	A O	97	(67)	97	(67)	24	(21)	4.04
	推 薦	96	(58)	96	(58)	40	(29)	2.40
	一 般	1071	(420)	999	(389)	268	(108)	3.73
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	1264	(545)	1192	(514)	332	(158)	3.59
合 計	A O	491	(221)	488	(221)	170	(77)	2.87
	推 薦	605	(233)	605	(233)	473	(180)	1.28
	一 般	3270	(982)	3098	(917)	643	(213)	4.82
	特 別	2	(0)	2	(0)	2	(0)	1.00
	合 計	4368	(1436)	4193	(1371)	1288	(470)	3.26

※AO入試内訳：トップアスリートAO入試Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期、学科AO入試、併設校AO入試

※推薦入試内訳：推薦入試Ⅰ期、推薦入試Ⅱ期

※一般入試内訳：一般入試前期(センター試験利用含む)、一般入試後期(センター試験利用含む)

※特別入試内訳：帰国生入試、IB資格入試、英語外部資格入試、外国人留学生入試、リカレント入試、飛び入学入試

■日本体育大学 スポーツマネジメント学部

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
ス ポ ー ツ マネジメント学科	A O	129	(32)	125	(32)	36	(14)	3.47
	推 薦	66	(22)	66	(22)	29	(10)	2.28
	一 般	905	(230)	866	(220)	171	(56)	5.06
	特 別	1	(0)	1	(0)	0	(0)	-
	合 計	1101	(284)	1058	(274)	236	(80)	4.48
スポーツライフ マネジメント学科	A O	69	(38)	67	(37)	23	(12)	2.91
	推 薦	38	(21)	38	(21)	24	(15)	1.58
	一 般	307	(103)	281	(96)	124	(36)	2.27
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	414	(162)	386	(154)	171	(63)	2.26
合 計	A O	198	(70)	192	(69)	59	(26)	3.25
	推 薦	104	(43)	104	(43)	53	(25)	1.96
	一 般	1212	(333)	1147	(316)	295	(92)	3.89
	特 別	1	(0)	1	(0)	0	(0)	-
	合 計	1515	(446)	1444	(428)	407	(143)	3.55

※AO入試内訳：トップアスリートAO入試Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期、学科AO入試、併設校AO入試

※推薦入試内訳：推薦入試Ⅰ期、推薦入試Ⅱ期

※一般入試内訳：一般入試前期、一般入試後期

※特別入試内訳：帰国生入試、外国人留学生入試、リカレント入試、英語外部資格入試

■日本体育大学 保健医療学部

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
整復医療学科	A O	80	(34)	80	(34)	39	(16)	2.05
	推 薦	34	(11)	34	(11)	34	(11)	1.00
	一 般	51	(16)	45	(13)	33	(10)	1.36
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	165	(61)	159	(58)	106	(37)	1.50
救急医療学科	A O	46	(13)	46	(13)	27	(9)	1.70
	推 薦	41	(5)	41	(5)	39	(4)	1.05
	一 般	38	(9)	32	(9)	28	(8)	1.14
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	125	(27)	119	(27)	94	(21)	1.27
合 計	A O	126	(47)	126	(47)	66	(25)	1.91
	推 薦	75	(16)	75	(16)	73	(15)	1.03
	一 般	89	(25)	77	(22)	61	(18)	1.26
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	290	(88)	278	(85)	200	(58)	1.39

※AO入試内訳：学科AO入試、併設校AO入試

※一般入試内訳：一般入試前期、一般入試後期

※特別入試内訳：帰国生入試、リカレント入試、IB資格入試、英語外部資格入試

■日本体育大学大学院 体育科学研究科 コーチング学専攻

博士前期課程			博士後期課程		
志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
31 (9)	31 (9)	23 (7)	4 (1)	4 (1)	4 (1)

■日本体育大学大学院 教育学研究科

博士前期課程			博士後期課程		
志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
6 (4)	6 (4)	6 (4)	11 (5)	11 (5)	11 (5)

■日本体育大学 スポーツ文化学部

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
武 道 教 育 学 科	A O	55	(15)	55	(15)	44	(14)	1.25
	推 薦	42	(12)	42	(12)	41	(11)	1.02
	一 般	45	(8)	44	(8)	36	(6)	1.22
	特 別	1	(0)	1	(0)	0	(0)	-
	合 計	143	(35)	142	(35)	121	(31)	1.17
スポーツ国際学科	A O	90	(39)	90	(39)	37	(19)	2.43
	推 薦	24	(11)	24	(11)	22	(11)	1.09
	一 般	372	(100)	358	(96)	104	(22)	3.44
	特 別	3	(1)	3	(1)	3	(1)	1.00
	合 計	489	(151)	475	(147)	166	(53)	2.86
合 計	A O	145	(54)	145	(54)	81	(33)	1.79
	推 薦	66	(23)	66	(23)	63	(22)	1.05
	一 般	417	(108)	402	(104)	140	(28)	2.87
	特 別	4	(1)	4	(1)	3	(1)	1.33
	合 計	632	(186)	617	(182)	287	(84)	2.15

※AO入試内訳：トップアスリートAO入試Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期、学科AO入試、併設校AO入試

※推薦入試内訳：推薦入試Ⅰ期、推薦入試Ⅱ期

※一般入試内訳：一般入試前期、一般入試後期

※特別入試内訳：帰国生入試、外国人留学生入試、リカレント入試、英語外部資格入試

■日本体育大学 児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
児 童 ス ポ ー ツ 教 育 コ ー ス	A O	72	(47)	72	(47)	32	(21)	2.25
	推 薦	72	(45)	72	(45)	57	(33)	1.26
	一 般	567	(218)	547	(210)	140	(55)	3.91
	特 別	2	(0)	2	(0)	2	(0)	1.00
	合 計	713	(310)	693	(302)	231	(109)	3.00
幼 児 教 育 保 育 コ ー ス	A O	43	(37)	43	(37)	11	(11)	3.91
	推 薦	41	(35)	41	(35)	32	(27)	1.28
	一 般	131	(105)	122	(96)	19	(11)	6.42
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	215	(177)	206	(168)	62	(49)	3.32
合 計	A O	115	(84)	115	(84)	43	(32)	2.67
	推 薦	113	(80)	113	(80)	89	(60)	1.27
	一 般	698	(323)	669	(306)	159	(66)	4.21
	特 別	2	(0)	2	(0)	2	(0)	1.00
	合 計	928	(487)	899	(470)	293	(158)	3.07

※AO入試内訳：学科AO入試、併設校AO入試

※一般入試内訳：一般入試前期(センター試験利用含む)、一般入試後期(センター試験利用含む)

※特別入試内訳：帰国生入試、リカレント入試、IB資格入試、英語外部資格入試

■日本体育大学 体育学部 編入学

志願者数	受験者数	合格者数
14 (3)	12 (3)	9 (3)

※児童スポーツ教育学部は出願なし

■日本体育大学大学院 体育科学研究科 体育科学専攻

区分	博士前期課程		
	志願者数	受験者数	合格者数
スポーツ文化・社会科学系	13 (2)	13 (2)	7 (1)
トレーニング科学系	16 (2)	16 (2)	11 (2)
健康科学・スポーツ医科学系	10 (3)	9 (3)	6 (2)
スポーツ教育・健康教育学系	4 (1)	3 (0)	2 (0)
合 計	43 (8)	41 (7)	26 (5)

区分	博士後期課程		
	志願者数	受験者数	合格者数
スポーツ文化・社会科学系	2 (0)	2 (0)	1 (0)
トレーニング科学系	6 (0)	6 (0)	4 (0)
健康科学・スポーツ医科学系	1 (0)	1 (0)	1 (0)
スポーツ教育・健康教育学系	5 (1)	5 (1)	4 (1)
合 計	14 (1)	14 (1)	10 (1)

■日本体育大学大学院 保健医療学研究科

区分	修士課程		
	志願者数	受験者数	合格者数
高度実践柔道整復師コース	7 (2)	7 (2)	6 (2)
救急災害医療学コース	4 (1)	4 (1)	3 (1)
合 計	11 (3)	11 (3)	9 (3)

■平成30年度学年暦

2018年	月 日	行 事
4月	2(月)	新入生オリエンテーション
	3(火)	入学式
	4(水)	新入生オリエンテーション
	5(木)	新入生オリエンテーション
	6(金)	前学期授業開始
5月	1(火)	海の日振替休日(7/16分)
	2(水)	秋分の日振替休日(9/24分)
7月	7(土)～15(日)	夏季実習期間
	16(月)	海の日(通常授業)
8月	2(木)	前学期授業終了
	3(金)	追・再試・補講期間 (2・3・4年生のみ、保健医療学部を除く)
		スキルアップセミナー(1年生のみ)
		補講(保健医療学部2・3・4年生のみ)
	6(月)～10(金)	追・再試・補講期間(保健医療学部を除く) 定期試験(保健医療学部のみ)
9月	3(月)～7(金)	追・再試験(保健医療学部のみ)
	20(木)	開学記念日
	21(金)	後学期授業開始
	24(月)	秋分の日振替休日(通常授業)
11月	1(木)～4(日)	日体フェスティバル(準備日含む)
	23(金)	勤労感謝の日(通常授業)
12月	24(月)	12月授業終了、天皇誕生日振替休日(通常授業)
2019年		
1月	10(木)	1月授業開始
	28(月)	後学期授業終了
	29(火)～30(水)	追・再試・補講期間(保健医療学部を除く) 補講(保健医療学部のみ)
2月	5(火)～8(金)、11(月)	追・再試・補講期間(保健医療学部を除く) 定期試験(保健医療学部のみ)
	12(火)～22(金)	冬季実習期間 (体育・スポーツ文化・スポーツマネジメント学部のみ)
	18(月)～22(金)、25(月)	追・再試験(保健医療学部のみ)
3月	15(金)	卒業式

学報NITTAIDAI(ニツタイダイ)52号
発行日●2018年4月3日
発行●日本体育大学広報課
TEL 03-5706-0948
FAX 03-5706-0922
https://www.nittai.ac.jp/
制作協力●(株)図書出版

■平成29年度退職者紹介

①着任、②主な役職等、③主な学友会活動、④主な学会・活動・受賞歴等(抜粋)

井川 正治(いがわ しょうじ)

①昭和52年／②人体機能測定装置等管理委員会委員、研究活動推進委員会委員、動物実験委員会委員、教員資格審査委員会委員、学生委員会委員、規程委員会委員、／③ボート部部长／④WHO"CARDIAC Study"共同研究員、日本近代五種バياسロン連盟理事(非常勤)、日本体育協会エンジョイススポーツセミナー講師、独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査会専門委員、秩父宮記念スポーツ医・科学奨励賞(スポーツ活動中における熱中症事故予防に関する研究班)

三輪 康廣(みわ やすひろ)

①昭和52年／②日本体育大学同窓会副会長、総合スポーツ科学研究推進センター運営委員会委員／③学友会副会長(総務担当)、体操競技部部长、日体フェスティバル実施委員長／④日本体育学会、日本コーチング学会、日本バイオメカニクス学会、日本体操競技・器械運動学会、日本オリンピックアカデミー(JOA)『オリンピック事典』編集委員、日本オリンピック委員会(JOC)・日本ユニバーシアード委員会、国際体操連盟(FIG)名誉国際審判員表彰(Honorary diploma/Pin・button授受)、全日本学生体操連盟功労賞、公益財団法人日本体操協会功労賞

西尾 末広(にしお すえひろ)

①昭和60年／②就職部長、改組特別委員会委員、研究室体制特別委員会委員／③学友会副会長(競技担当)、バスケットボール部部长、監督、コーチ(インカレ男女、複数回優勝)／④日本バスケットボール協会理事、日本バスケットボール協会参与、日本バスケットボール協会指導者育成委員会委員長、日本バスケットボール協会 コーチコミッティ副理事長

朝日 茂樹(あさひ しげき)

①平成26年／②保健医療学部救急医療学科長／④日本脳神経外科学会、日本救急医学会、集団災害医学会、脳卒中学会、日本DMAT隊員、日本脳神経外科学会評議員、国際救助搜索機構(INSARAG)救助チーム帯同医師部会日本代表、国連災害迅速評価調整員(UNDAC)、JICA国際緊急援助隊総合調整部会委員およびアドバイザー、第42回読売医療功労賞(海外部門)、厚生労働大臣表彰、外務大臣感謝状、日本神経外傷研究会会長賞、アルジェリア政府保健大臣から感謝状、JICA理事長感謝状、国立フィリピン大学長賞、フィリピン国保健省から感謝状

池野 範男(いけの のりお)

①平成29年／④全国社会科教育学会、日本社会科教育学会、社会系教科教育学会、日本教科教育学会、日本教育学会、日本教育方法学会、日本カリキュラム学会、CitizED、CiCea、日本教育方法学会常任理事、日本カリキュラム学会理事、CitizED機関誌 Citizenship, Teaching and Learning編集委員、全国社会科教育学会会長

小野塚 實(おのづか みのる)

①平成26年／④日本神経科学会、日本教育医学会、日本歯科衛生教育学会、日本歯科衛生学会、日本生理学会評議員、日本神経科学会専門会員、歯科基礎医学会評議員、SAM研究協議会評議員、公益Award 8020推進財団(日本歯科医師会)理事・評議員、William J Gies Award受賞、日本組織細胞化学会論文賞受賞(日本組織細胞化学会)、額田奨励賞受賞(東邦大学)、持田生命科学研究助成金受賞(持田記念医学薬学振興財団)、内藤記念科学奨励金受賞(内藤記念科学振興財団)、金原医学医療基礎研究助成金受賞(金原一郎記念医学医療振興財団)

猪越 孝治(いのこし たかはる)

①平成27年／④日本柔道整復接骨医学会、日本武道学会、日本自律訓練学会

周東 美材(しゅうとう よしき)

①平成29年／④単著『童謡の近代—メディアの変容と子ども文化』、共著『カワイイ文化とテクノロジーの隠れた関係』、学術論文「水の江瀧子と石原裕次郎—「男であること」の捏造の系譜」、「いつも見ていた「ジャーニーズ」—戦後日本のメディアと家族」、「子ども文化としての「スター誕生!」—1970年代のテレビと阿久悠の試み」、「新教育運動における聖なるエクリチュール—成城小学校を事例に」、第40回日本児童文学学会奨励賞、2015年日本感性工学会出版賞、一般社団法人日本童謡協会第46回日本童謡賞・特別賞